

# シンフォニー

第 **44** 号  
年3回発行(1月・5月・9月)

発行/医療法人社団協会 彩の国東大宮メディカルセンター 編集/広報委員会  
〒331-8577 埼玉県さいたま市北区土呂町1522 TEL.048-665-6111 FAX.048-665-6112 <https://www.shmc.jp>

## 特集

Feature Articles

謹んで  
新年のお慶びを  
申し上げます。



院長  
藤岡 丞

昨年は病院にとって大きな飛躍の年になりました。まず4月には100名近いフレッシュな新卒者を迎えました。彼らは、さまざまな試練を乗り越えながら、頼もしく成長しています。春には彼らが先輩として、新しく入職する1年生の指導をしてくれるでしょう。

新しい医師も続々と仲間になっています。例えば整形外科では、倍以上の人数となり、不慮の怪我をされた患者さまの手術をできる限り早く行う体制が整いました。また、長らく常勤医師が不在であった形成外科、皮膚科、耳鼻咽喉科は常勤医師による外来診療が始まり、入院手術の対応も可能となりました。今までよりも一層、地域医療により貢献し、皆様

のご要望に広くお応えできるようになりました。もちろん他の診療科でも、患者さまに寄り添う心を持った医師たちがどんどん増えていきます。

また、患者さまや地域の皆様のご意見やご要望を十分に活用させていただくため、ご意見箱を増設しています。更に、院内では診療、医療サービスや医療の質などに関する委員会が設立されていますが、サービス向上のため各委員会での改善活動も活発化しています。私も健康講座の際や、自治会の皆様との懇談会を通じて、こちらから皆様のご要望にこたえる活動を続けています。

昨年は各部署で明確な目標を定め、達成度を管理しながら業務改善活動を活発に行ってきました。また各委員会でも、医療安全や感染対策をはじめとする医療の質をさらに上げる活動に取り組んでいます。その結果、さまざまな指標は全国的に見ても高いレベルを維持しています。

個人的には院長就任から1年、日々が学びの気づきの連続でした。優秀なスタッフたちに支えられて、病院は順調に進化を続けています。これからもっと地域に貢献できるように、「患者さまも職員も、みんなが笑顔になれる病院」を目指していきたいと思えます。

本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。



消化器内科



消化器内科・  
内視鏡センター長  
中山 剛



当院では5名の消化器病専門医、4名の消化器内視鏡専門医が常勤医として勤務しており、腹部に関連した様々な急性・慢性の疾患に対して初期治療・診断、治療方針の決定から、慢性期の病状コントロールまで幅広い診療を行っています。当科の特徴である内視鏡を用いた診療は年間1万件を超えており、ますます増加傾向にある需要に対して、診療レベルの向上とともに、苦痛の少ない安全な診療を目指して努力して参ります。

■ 内視鏡検査に伴う苦痛の軽減

「胃カメラはつらい」、「大腸内視鏡は痛い」など内視鏡検査に不安の強い患者さまには鎮静剤や鎮痛剤を使用した内視鏡を行っていますのでご相談下さい。



■ 負担の少ない治療

高齢化に伴い臓器温存、低侵襲治療の必要性が増えており、早期食道癌、胃癌、大腸癌に対する内視鏡的治療（ESD・内視鏡的粘膜下層剥離術）も日常的に行っています。

■ 集学的な癌治療

当院では全ての消化器癌患者さまの治療方針を消化器内科、外科、臨床腫瘍科、放射線治療科担当医と週1回の合同カンファレンスにて検討し、決定しています。

■ 上部消化管（食道、胃、十二指腸）疾患の診療

日本人の国民病とも言える胃癌やピロリ菌感染症の他、近年、生活習慣の変化に伴い、増加傾向にある逆流性食道炎や機能性ディスペプシア（慢性的な胃部痛や胃もたれ）などの診断・治療にも力を入れております。

■ 下部消化管（大腸）疾患の診療

生活習慣の欧米化にともない、大腸癌は年々増加傾向にあります。その原因として大腸癌受診率の低さが問題となっておりますが、大腸癌は前癌病変であるポリープを早期に見出し、内視鏡的に切除すれば死亡率を低下させることが証明されていますので、大腸がん検診を定期的に受診しましょう。また慢性下痢や便秘を主訴とする外来患者さまが年々増加しています。原因である炎症性腸疾患や過敏性腸症候群といった非腫瘍性疾患の治療も日々進化しており、お気軽にご相談下さい。

■ 胆道・膵疾患の診療

年間300件を超える胆石（総胆管結石）に対する内視鏡的採石術、胆道癌・膵臓癌による閉塞性黄疸に対して内視鏡的減黄術を日常的に行っています。

■ 肝疾患の診療

慢性肝炎・肝硬変に対する内科的治療、肝臓癌に対する動脈塞栓術、ラジオ波焼灼術、分子標的薬治療など個々の患者さまに合った治療を行っています。



# 看護部

看護部長  
吉村 久美子



2019年9月21日より、彩の国東大宮メディカルセンターの看護部長に就任いたしました。もとより微力ではありますが、皆様のお力添えを頂き、職務に精励したいと思っております。ご指導ご協力をお願いいたします。

看護部は、

- ① 患者さま中心の看護を提供する
- ② 安全で安心な療養環境を整える
- ③ 専門職としての確実な技術を提供する
- ④ 信頼される職員を育成する

という基本方針のもと、活動しております。自分の家族のように患者さまに寄り添い、看護師だからこぞできる「思いやり」の心をもって看護の提供をつらぎたいと考えています。

医療や看護を取り巻く環境の変化は著しく、患者さまの高齢化、重症化が進む中、安全で安心な看護を提供するためには、知識・技術はもとより、変化に柔軟に対応する力が求められます。当院は医療事業グループである、上尾中央医科（AMG）グループの一員です。AMGによる人材育成プログラムを活用し、臨床実践能力を育成する「クリニカルリーダー」、管理能力を育成する「マネジメントラダー」、各専門領域で看護実践能力を補うための「透析看護リーダー」「内視鏡看護リーダー」「手術看護リーダー」により看護師の育成に力を注いでいます。人材活用では認定看護師や専門性の高い看護師が各現場で活躍し

ています。認定看護師は、施設からの研修依頼や相談に応じており、地域連携にも力を入れています。また、当院は「がん診療指定病院」として地域のがん患者さまが安心して治療や医療サポートを受けられるように「がん相談」「緩和ケア外来」などが診療の質の向上のための活動をしています。社会では働き方改革が進められ、少子高齢化に伴う生産年齢人口の減少や働くスタイルの多様化など、様々な課題や変化に対応していく必要があります。質の高い看護を提供するために、人材の育成と人材の有効活用への取り組みを強化し、看護部組織が病院と地域に貢献できるよう努力していきます。



看護部  
総会

看護部総会において、1年間の実績報告と目標の発表を行っています。



看護部  
新人研修

集中治療部 係長が酸素療法の講義をしています。



看護部  
新人研修  
最終日

1か月にわたる新人研修最終日に学びを発表しています。



# 患者教室のご案内 (ミニセミナー)

## 1月のスケジュール

新しい年を迎え、ますます寒い時期になりました。  
今年も、健康維持をこころがけ、元気に過ごせますように。  
「患者教室」今年もよろしくお祈りします。

### 16日(木)「狭心症の薬」

☆すこしでも気になる方は、早めの受診・対処が必要です。

### 28日(火)「糖尿病教室」～新春講演会「糖尿病をめぐる最新の話題」～

## 2月のスケジュール

寒さが厳しい時期です。温かくして過ごしましょう。  
体の不調を感じたら、早めの受診を。

### 20日(木)「花粉症とくすり」

☆まだ早いと思うでしょうが、花粉症の対策はこの時期から始めるといいですよ。

### 25日(火)「糖尿病教室」～糖尿病とフットケア・日常習慣～

## 診療実績

(2019年8月～2019年11月平均)

入院稼働率 ……95.8%  
1日平均入院患者数 ……322.7人  
平均在院日数 ……15.6日  
1日平均外来患者数 ……582.0人  
救急搬送件数 ……571件/月  
手術件数 ……252件/月  
紹介患者数 ……851件/月

興味のあるセミナーに、  
ご自由にご参加ください。

場 所

2階 エデュケーションセンター

時 間

13時～

## 交通案内図



**JR**  
宇都宮線・湘南新宿ライン・上野東京ライン  
「土呂駅」東口より 徒歩約11分

**東武アーバンパークライン**  
「大宮公園駅」より 徒歩約9分

**自動車**  
首都高速埼玉新都心線「さいたま見沼」ICより 約18分  
東北自動車道「岩槻」ICより 約21分



皆さま健やかに新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。  
新しい年を迎え、当院はさらに、職員一丸となり、高度な医療で  
地域に貢献してまいります。

広報委員会 / 石川



医療法人社団協友会

彩の国東大宮メディカルセンター

〒331-8577 埼玉県さいたま市北区土呂町1522

TEL.048-665-6111 FAX.048-665-6112

彩の国東大宮メディカルセンター

検索